

標 題 : The association between homocysteine levels, Mediterranean diet and cardiovascular disease: a case-control study.
ホモシステイン値、地中海食事と心臓血管系疾患との間の関連：症例－対照研究

著 者 : A. Foscolou, et al. (ギリシャ アテネ ハロコピオ大学 栄養・食事療法学部)

掲 載 誌 : Int. J. Food Sci. Nutr. 2018 Dec 2: 1-8 [印刷に先立つ電子出版]

要 旨 :

目的は、ホモシステインと急性冠動脈症候群(ACS)との間の関連を調査して、地中海食事が緩和する役割の可能性を検証することであった。

年齢および性別を釣り合わせた症例－対照研究を、最初のACS事象の患者1491人および心臓血管系疾患でない成人3037人の間で実施した。

地中海食事の順守を、地中海食事スコア(範囲0-55)を使用して測定した。

ホモシステイン値の上昇は、若年(<45歳)で1%そして中年(45-60歳)では3%高いACSの可能性と関連したが、高齢者では関連しなかった($p=0.13$)。

その上ホモシステインは、地中海食事を順守しない人々の間でACSの可能性の3%(95%CI、1.01-1.06)上昇と関連した。

この理由でホモシステインは、若年および中年の人々の間で明らかに独立してACSと関連する。

地中海食事の順守とホモシステインとの間の逆相関は、心臓血管系疾患に対する地中海食事の疾患予防効果を強調する。

キーワード : ホモシステイン、地中海食事、加齢、心臓血管系疾患
